

## 各PCB処理事業所における取組意識等に関するアンケート結果への対応

### 1. 背景

中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）では、高濃度 PCB 廃棄物の処理期限内での処理完了の実現に向けて、これまで以上に安全の確保、環境保全の徹底に配慮した取組が重要である。そこで、各 PCB 処理事業所で業務に従事する JESCO 社員及び運転会社社員の取組意識等の把握及び啓蒙を目的として、取組意識等に関するアンケートを実施した（平成 27 年度は東京 PCB 処理事業所において先行実施）。各 PCB 処理事業所のアンケート結果と、結果を踏まえた課題と対策については、それぞれの PCB 処理事業部会に報告し、助言をいただいた。

本資料では、5 PCB 処理事業所におけるアンケート結果と、結果を踏まえた課題と対策についてとりまとめた。

### 2. 調査方法

対象者	各PCB処理事業所 JESCO 社員及び運転会社職員
調査方法	無記名アンケート
調査期間	北九州、豊田、大阪、北海道：平成 29 年 3 月(2 週間程度) 東京：平成 28 年 1 月～2 月(2 週間程度)
回答数	北九州： JESCO 59 名 北九州環境プラントサービス(KEPS) 259 名
	豊田： JESCO 34 名 豊田環境サービス(TKS) 152 名
	東京： JESCO 41 名 東京環境オペレーション(TEO) 168 名
	大阪： JESCO 36 名 エコクリエイト大阪(ecoo) 138 名
	北海道： JESCO 60 名 室蘭環境プラントサービス(MEPS) 223 名
各事業部会報告	北九州： 平成 29 年 6 月 22 日
	豊田： 平成 29 年 6 月 15 日
	東京： 平成 28 年 2 月 26 日，平成 28 年 7 月 5 日
	大阪： 平成 29 年 8 月 16 日
	北海道： 平成 29 年 9 月 14 日

### 3. 調査結果（概要） ※結果詳細については別紙 1

#### (1) 事業所間で回答が共通であった事項

- ▶ ほとんど者が、PCB を日本及び世界から廃絶するという意識のもと、国策としての事業の経緯を自覚し、地元からの処理期限内の処理を求められていることを意識して事業を実施している。【共通 1】、【共通 3】、【共通 4】
- ▶ 「PCB 特措法」、「POPs 条約」、「協定書（大阪では通知）」について、JESCO 社員では「よく知っている」と回答した者が多いが、「聞いたことはあるが、具体的内容を知らな

- い」と回答した者もいた。また、運転会社職員では「聞いたことはあるが、具体的内容を知らない」との回答が最も多かった。【共通 2①】、【共通 2②】、【共通 5】
- 業務において優先している事項については、JESCO・運転会社ともに全事業所において「安全」との回答した者が最も多かった。【共通 6①】
  - PCB の毒性等についてはほとんどの JESCO 社員が「よく知っている」、「だいたい分かる」との回答であった。【JESCO1】
  - 事業所の処理特性への理解については、どの事業所でも JESCO 社員の理解の程度にバラツキが認められたが、概ね 8 割程度の JESCO 社員が処理方法（脱塩素化分解、プラズマ分解、水熱分解）以上のことを理解しているとの回答であった。【JESCO2】
  - 多くの運転会社職員が血中 PCB 濃度及び作業環境濃度を「知っている」と回答したが、「知らない」という回答が 1～3 割程度あった。【運転 1①】、【運転 1②】
  - ヒヤリハットの経験については北九州 PCB 処理事業所以外の事業所では「たまにある（年に数回）」が最も多い回答であり、北九州 PCB 処理事業所は「ほとんどない（これまでに 1～2 回以下）」が最も多い回答であったが、大きな違いはなかった。【運転 4】
  - ヒヤリハットの報告については、多少差はあるものの、「必ず報告している」、「ある程度報告している」を合計すれば全ての事業所が 9 割を超えていた。【運転 4①】

## （2）事業所間で回答に差異があった事項

- 過去のトラブル事例の理解については、発生したトラブルが事業所毎に異なり、自事業所のトラブルを質問としたことから、回答にバラツキがあった。北九州 PCB 処理事業所においては、H27 年度に発生した排気中ベンゼン協定値超過事案を題材としたところ、影響が大きな事案であり事業所内で再発防止の取組を強力に進めたこともあってか、他事業所に比較して「よく知っている」と回答した者が顕著に多かった。また、東京 PCB 処理事業所や北海道 PCB 処理事業所などは扱った題材が比較的前のものであったこともあり他事業所に比較して「よく知っている」と回答した者が少なかった。【共通 7】
- マニュアルの確認については、全ての事業所において「折に触れマニュアルを見るようにしている」という回答が最も多いものの、その回答率にはバラツキがあり、大阪 PCB 処理事業所及び東京 PCB 処理事業所は他の事業所と比べて少し少なかった。【運転 3】

## 4. 課題と対策

本アンケートの結果として、「知らない」「分からない」などのネガティブな回答が得られたものについては、今後の課題として位置づけ、事業所内で実施している教育等を徹底することにより、意識の向上及び知識の習得を行っていく（別紙 2）。

以上。